

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	ITビジネス演習 I (TDB109)	配当学年	1学年
講義名 (コード)	ITビジネス演習 I (TDB109)	単位数	2
対象学科	グローバルビジネス	時間数	30
対象コース	デジタルビジネス	講義期間	春
専攻		履修区分	必修
授業担当者	居山・染谷	授業形態	講義
成績評価教員	居山・染谷	実務者教員	はい
実務者教員特記欄	AI先端企業の実務家をゲスト講師として招く		

2. 本授業科目の概要

目的 (位置づけ)	いくつかの企業が現在取り組んでいるビジネスモデルやDXについて実践的な事例研究をすることを通して、DXが企業にもたらす価値や課題を習得する
到達目標	検討した事例についての改善DXアイデアを考え、その提案をプレゼンテーションできるようになる。
全体の内容と概要	連携企業の協力の元で行われるworkshop中心の授業
授業時間外の学修	登場する連携企業について各自の事前調査を奨励 日本の連携企業の事例研究をヒントとして、類似例などを海外で探すリサーチワーク
履修上の注意事項	
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	発表内容、個人課題（レポート、提言）の提出、授業、ワークショップへの態度、発言、など		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画			
回	日程	講師	授業内容
1	4月18日	染谷文香	・講義の目的、取り組み、心構え、評価方法 ・「最初が肝心プロジェクト」自分ビジョンと学びのリンクを確認する
2	4月25日	居山	・ビジネスモデルとは？ビジネスモデルの変遷など ・Udemyのビジネスモデルと利用法 GWの宿題
3	5月2日	授業なし	
4	5月9日	居山	・Udemy GW宿題の報告 ・e-learningビジネス
5	5月17日	染谷文香	・SNSをめぐる動き ・次回授業に関する情報収集と質問だし
6	5月23日	MYWAYDESIGN	現在のサービス内容と今までの経歴口
7	5月30日	MYWAYDESIGN	成功事例とノウハウ口
8	6月6日	MYWAYDESIGN	SNSをめぐる市場状況とこれからのネット戦略
9	6月13日	MYWAYDESIGN	SNSネット戦略策定 Group Workと発表会
10	6月20日	染谷文香	・「MYWAYDESIGN」の授業からの学び、気づきを深める。 ・【演習】授業の概要、理解したことをまとめて発表 ・ 次回授業の概要説明 ・ 次回授業に関する情報収集と質問だし
11	6月27日	染谷文香 (Sony Network Communications)	・(録画教材) AI/Deep Learningとは ※インターバルをいれてグループ討議
12	7月4日	染谷文香/森岡達也様	AIとChat GPT
13	7月11日	森岡達也様	・中国のインターネット業界の発展とIT巨人たち（Tencent） ・【グループ演習】海外のインターネット業界、DXの動きを調べまとめる
14	7月18日	染谷文香	・【演習】DXは企業に何をもたらすのか？（事例を含めて説明）
15	7月25日	染谷文香	・期末課題レポートに取り組む（DXは企業に何をもたらすのか？）

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	